

8

記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は

以下の操作をお試しください。

- ・ エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。(F5キー押下)
- ・ USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- ・ 端末 (スマートフォン) を再起動する。

8-1 記録したデータを確認する

測設・観測・3D施工で記録したデータ (座標) を確認します。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。
- 2 [測設データ]
[観測データ]
[3D施工データ]
の各ボタンをタップして、記録
したデータを確認します。



[測設データ]

測設データ管理	
点名	X/Y/Z座標
SZ-端点	99.902 99.997 5.400
SR-NO.2R	99.502 100.802 5.158

[観測データ]

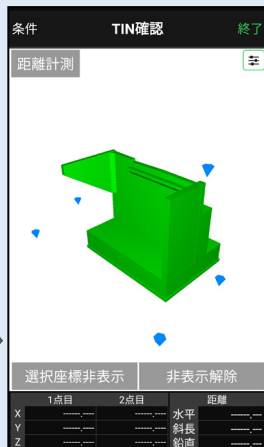
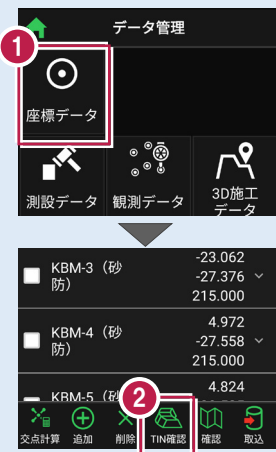
観測データ管理	
点名	X/Y/Z座標
KO-No.2-1	99.360 100.799 4.993
KO-No.2-2	99.585 100.804 5.202
KO-No.2-3	99.667 100.795 5.204

[3D施工データ]

3D施工データ管理	
点名	X/Y/Z座標
ST-NO. 2+0.005-1	99.606 100.805 4.993
ST-NO. 1+0.004-1	99.911 100.404 5.401
ST-NO. 0+0.398-1	99.926 100.398 5.410

TIN の頂点と計測した座標の距離を確認する場合は

[データ管理] -
[座標データ] の [TIN確認]
をタップします。



[距離計測] をタップして、
計測する2点（頂点または
座標）を選択します。

[頂点] ボタンがオンの時は
頂点がタップできます。

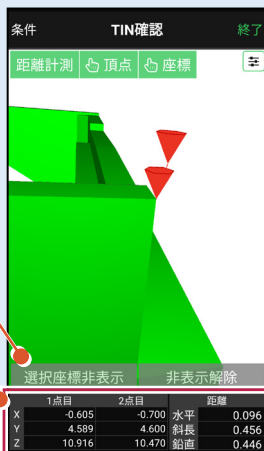
[座標] ボタンがオンの時は
座標がタップできます。



タップした2点が赤色で表示
され、距離が確認できます。

[選択座標非表示] で
表示が不要な座標を非表示
にしても構いません。

1点目、2点目の座標値
と、水平距離、斜長、鉛直
距離が確認できます。



左上の [条件] で
TINを切り替えます。

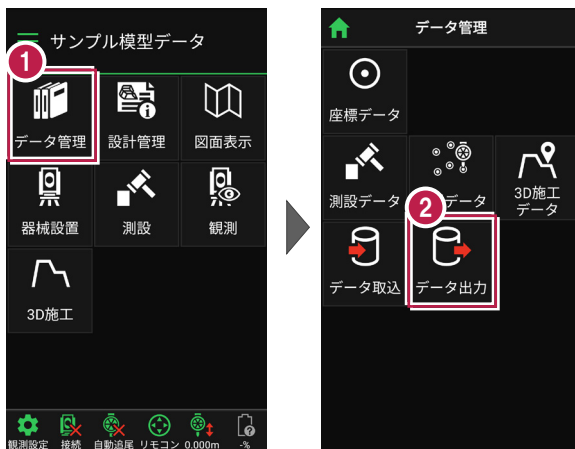


8-2 座標データ (SIMA) を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



- 3 [座標 (SIMA)] を
選択して [次へ] をタップ
します。

- 4 現場データ内の座標データ
をすべて出力する場合は
[全て] を選択して
[次へ] をタップします。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で [座標 (CSV)] または [座標 (CSV : 末尾コンマ付)] を選択して [次へ] をタップします。出力されるのは、以下の項目です。

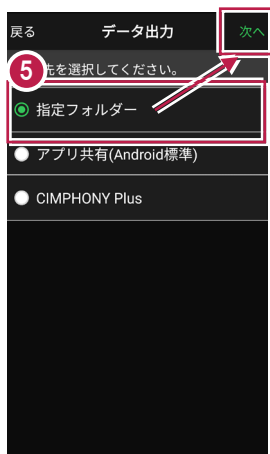
・座標 (CSV) …点名,X座標,Y座標,Z座標,属性,計測日時,目標点名,目標X座標,目標Y座標,目標Z座標,差 (水平距離),差 (鉛直距離),差 (斜距離)

・座標 (CSV : 末尾コンマ付) …点名,X座標,Y座標,Z座標,

※座標値の丸めは [現場共通設定] - [桁設定] の「X/Y座標」「Z座標」の丸めを使用します。([座標 (SIMA)] も同様。)

※差は単位mmで出力します。

- 5 端末内のフォルダーに出力する場合は、
[指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。



- 6 ファイル名を指定して [実行] をタップします。

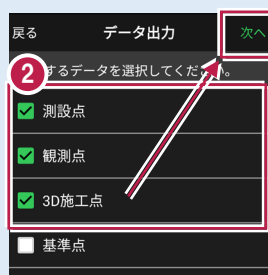
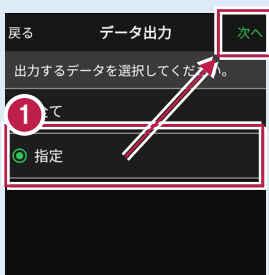
Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

[指定] を選択して [次へ] をタップします。

出力する座標データの属性のチェックをオンにして [次へ] をタップします。

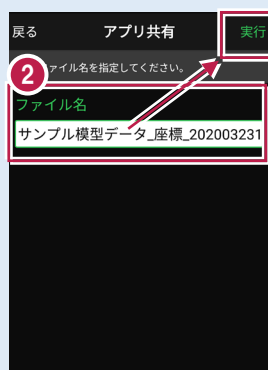


アプリ共有（クラウドストレージやメールなど）に出力する場合は

[アプリ共有] を選択して [次へ] をタップします。

ファイル名を指定して [実行] をタップします。

出力先（共有先）のアプリを指定すると座標データが出力されます。

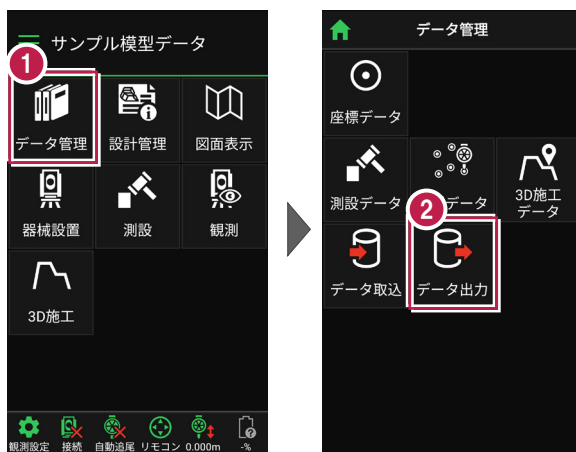


8-3 横断現況データ（SIMA）を出力する

現場データ内の横断データを、横断SIMA形式で出力します。
出力されるのは、[観測] - [横断放射] で観測した横断データです。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



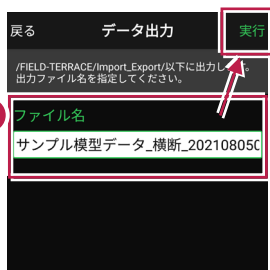
- 3 [横断現況（SIMA）]
を選択して [次へ] を
タップします。

- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。

Import_Exportフォルダー
に横断現況データが出力さ
れます。



8-4 出来形計測データ (XML) を出力する

現場データ内の出来形計測データを、XML形式で出力します。

出力されるのは、[3D施工] - [出来形計測] で観測した出来形計測データです。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。



- 2 [データ出力] をタップ
します。



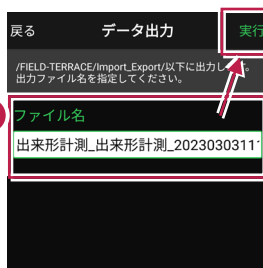
- 3 [出来形計測] を選択
して [次へ] をタップします。



- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。



Import_Exportフォルダー
に出来形計測データが出力
されます。

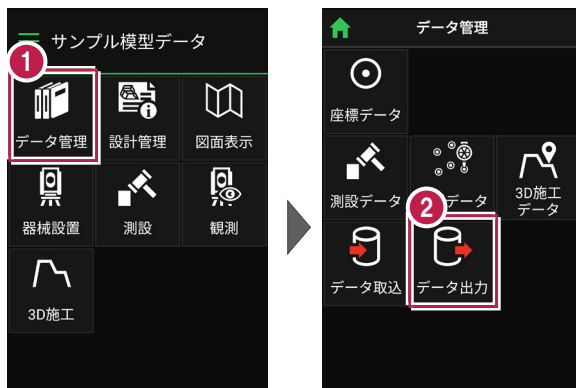
8-5 簡易TINデータ (LandXML) を出力する

現場データ内の簡易TINデータを、LandXML形式で出力します。

出力されるのは、[設計管理] - [TINデータ] で作成した簡易TINデータです。

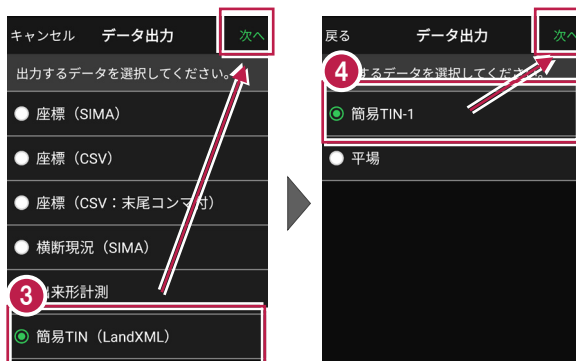
- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 [データ出力] をタップ
します。



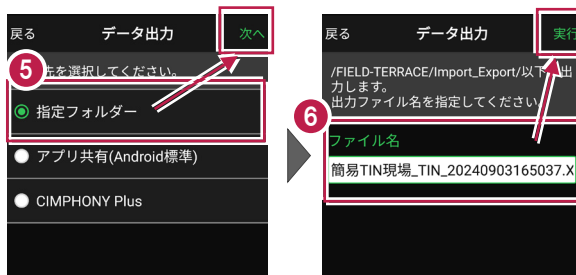
- 3 [簡易TIN (LandXML)]
を選択して [次へ] をタップ
します。

- 4 出力する簡易TINを選択
して [次へ] をタップします。



- 5 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。

- 6 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。



Import_Exportフォルダー
に簡易TINデータが出力さ
れます。

8-6 現場データ (FTZ、FTZS) を出力する

FIELD-TERRACEオリジナルの現場データ (FTZ、FTZSファイル) を出力します。

FTZ、FTZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

FTZ、FTZSファイルは、他のスマートフォンのFIELD-TERRACEとの現場データの受け渡しなどに使用します。EX-TREND武蔵など他プログラムで読み込むことはできません。

- 1 ホーム画面の [メニュー] をタップします。



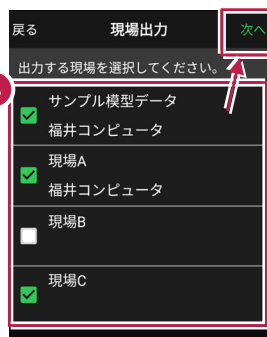
- 2 [現場 切り替え] をタップします。



- 3 [出力] をタップします。



- 4 出力する現場を選択して [次へ] をタップします。



- 5 端末内のフォルダーに出力する場合は、[指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。



- 6 ファイル名を指定して [実行] をタップします。



Import_Exportフォルダーに現場データ (FTZまたはFTZS) が出力されます。

拡張子は選択した現場が1つの場合はFTZ、複数の場合はFTZSになります。